

# 家畜・家さんの種類: 肉用牛

- ・ 肉用牛には3種の区分があり、それぞれ「肉専用種(和牛)」「乳用種(国産若牛)」「交雑種(F1)」と呼ばれている。
- ・ 「肉専用種」はそもそも牛肉を生産する目的で飼養されているもの。「乳用種」は酪農経営の副産物である雄牛を肉向けに肥育したもの。「交雑種」は乳用牛の雌に肉専用種の雄を掛け合わせ、肉質の向上を図ったもの。

## 肉専用種

### 和牛(4品種)

#### ○黒毛和種

我が国和牛の主要品種。肉質、特に脂肪交雑(いわゆる「サシ」)の点で非常に優れており、「霜降り高級牛肉」を生産。肉専用種の飼養頭数のうち、約95%がこの品種。



#### ○無角和種

被毛色は黒色で黒毛和種より黒味が強い。肉質の面では脂肪交雑や肉のきめなどが黒毛和種より劣る。



#### ○日本短角種

脂肪交雑はやや劣るが、体格が良く、放牧適性が高く粗飼料で効率的に赤身肉を生産。岩手県が主産県。



#### ○褐毛和種

肉質の点では黒毛和種に次ぐ。耐暑性に優れ、粗飼料利用性が高い。熊本県が主産県。

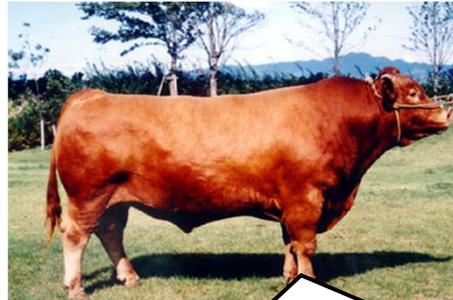


写真:(社)全国肉用牛振興基金協会HPより

この他、外国種(アンガス、ヘレフォードなども)

## 乳用種(国産若牛)

#### ○ホルスタイン種(♂)

酪農経営の副産物である雄牛を去勢(きよせい)し、肥育する。肉質の点で輸入牛肉と競合。



この他「ジャージー種」なども

※「乳用種」「交雑種」の初生牛(ヌレ子:子供の牛)は酪農経営で生産される。

## 交雑種(F1)

#### ○黒毛和種(♂)×ホルスタイン種(♀)

乳用種の雌牛に肉専用種の雄牛を交配し、肉質の向上を図ったもの。



写真提供:(社)全国肉用牛振興基金協会  
乳用種は(社)中央畜産会